



## はばたこう 思い出とともに

草野・飯樋・白石小学校 卒業式

はじまるよ 春  
あたらしい

チャイムの音と  
子ども達の歓声が  
戻ってきます



# 開園 開校

平成三十年四月一日

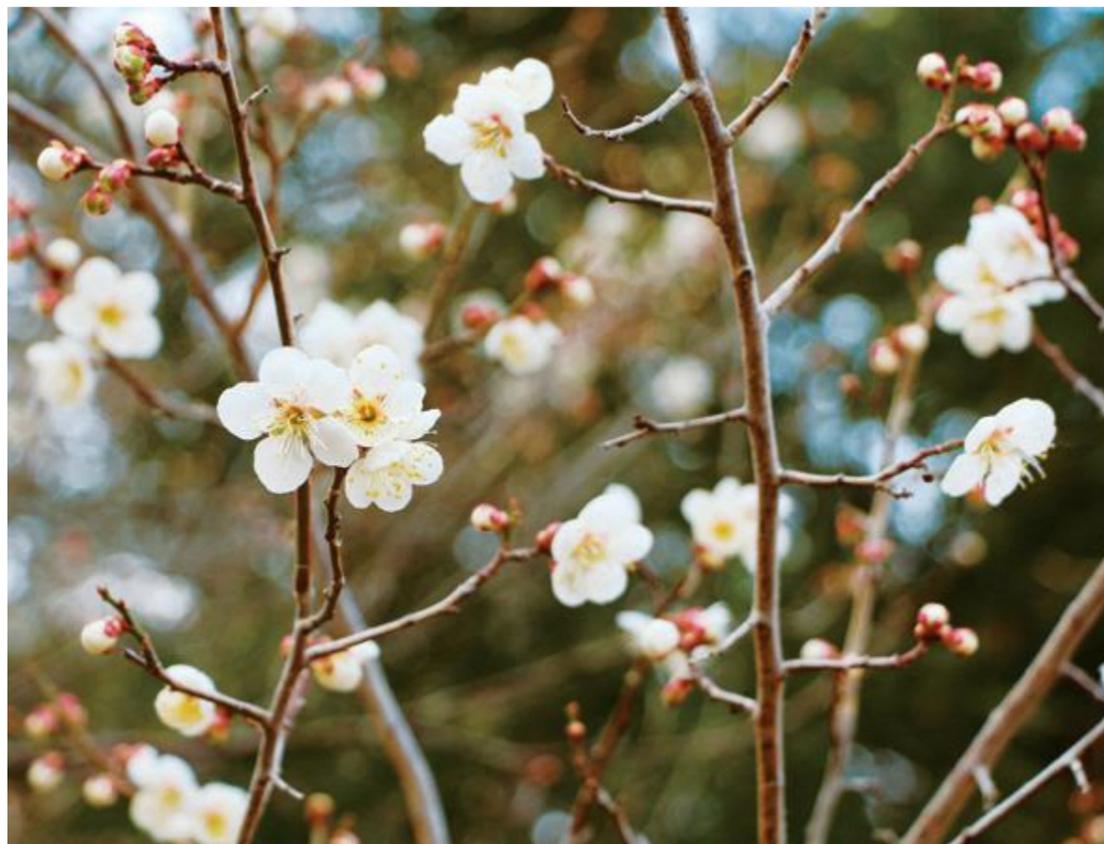
飯館村立 までのいの里のこども園  
飯館村立 草野・飯樋・白石小学校  
飯館村立 飯館中学校

施設概要

- 小学校・中学校 改修 鉄筋コンクリート3階建て(延床面積4,867㎡)  
普通教室・特別教室・ワークスペース・多目的ホール・展示スペース・図書室・ランチルーム・保健室・職員室など
- 中学生用体育館 改修 鉄骨造平屋建て(延床面積1,806㎡)  
アリーナ・ステージ・男女更衣室・ホール・教室・器具庫など
- 認定こども園 新築 木造平屋建て(延床面積996㎡)  
保育室・病後児保育室・子育て支援室・遊戯室・プレイルーム・デン・調理室・職員室など
- 小学生用体育館・食育プラザ(給食センター)  
新築 鉄骨造平屋建て(延床面積1,526㎡)  
体育館/アリーナ・ステージ・ミーティング室など  
食育プラザ/調理室・食育ルーム・醗酵室・見学通路など
- 屋内プール 新築 鉄骨造平屋建て(延床面積1,118㎡)  
メインプール25m×6コース・サブプール10m×5m・器具庫4・男女更衣室・倉庫・機械室など
- 通学路・前庭・ピオトープ(屋外教育環境施設)・校庭・駐車場など



いいたて四季彩景 ● 春の花だより



3月末に関沢地区で出会った梅の花。庭先の水仙も開き始めて、いよいよ春の到来です。

CONTENTS 目次

- 3 特集1 開園・開校 はじまるよ あたらしい春
- 6 復興を歩む やまゆり保育所の閉所
- 8 特集2 はじめてみませんか 生きがい農業
- 10 特集3 平成30年度予算と主な事業
- 14 報告 3月議会定例会
- 18 お知らせ ふるさと住民票 ほか
- 19 農業委員会からのお知らせ
- 20 職員人事/役場連絡先一覧
- 22 いいたて便り
- 24 つながるアルバム
- 26 お知らせ
- 27 入札結果
- 28 ひとかたるものがたり / 堀先生相談室
- 29 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 30 フォトストーリー 修了式・卒業式
- 32 ホープス / 編集後記

入学から6年間を仮設校舎で過ごしてきた卒業生。思い出の校舎から巣立ちます。卒業おめでとう！そして避難した学校を守ってくれて、ありがとう。



●表紙のおはなし●



# 復興を歩む vol.35

## やまゆり保育所の開所

3月24日、やまゆり保育所の修了式と閉所式が、川俣町の仮設保育所で行われました。

修了式では、閉所に伴い、0歳児から2歳児、合わせて9人全員が、中井田多美子所長から、修了証書を受け取りました。中井田所長は、「楽しかったね。思い出がいっぱいです」と子ども達に語りかけ、「保護者の皆様とお話ししながら、子ども達の成長を喜ぶことができて幸せでした」と感謝を込めてあいさつしました。

平成13年度に開所した村立の保育所が、16年度に認可保育施設となり、20年度からは社会福祉法人いたて福祉会が運営してきました。

震災時に通っていた乳幼児は53人。昼寝の時間の発災でしたが、毎月の避難訓練を生かして駐車場へと避難。近隣の住民や事業所にも助けられながら、無事に全員を保護者に引き渡すことができました。翌月の4月5日には、村内で勤務する保護者の要望を受けて保育を再開。安全確保に最大の注意をはらい、避難までの日々を乗り越えました。

川俣町の空き店舗を改修した施設に避難したのはさらに1か月半後の5月23日。急ごしらえの保育施設の環境を一つひとつ改善しながら、親子の日常を守りました。外遊びができなかった当初は、水遊びも室内で。制限のある中でも遊びや学びを豊かにしようと工夫を重ねました。

震災後に生まれ入所した子ども達のかげがえのない成長の日々は、この仮設保育所がありました。村内に勤務する齋藤由利子さん(大久保外内)は、2歳児の真愛さんと修了証書を受け取りました。「子どもは4人ともやまゆり保育所です。優しい先生方に、私も相談ののってもらってきました」。修了児9人のうち8人が、村立のこども園に通います。

閉所式では、保護者を代表して、志賀信幸さん(飯樋町)があいさつしました。「朝早くから夕方遅くまで、ていねいに保育をしていただき、おかげで私達保護者は安心して仕事をすることができました。思い出のいっぱいあったやまゆり保育所が閉所するのはさびしいことです。4月からは認定こども園となり、村に7年ぶりに子ども達のにぎやかな声が戻ってきます。私達保護者、そして地域で、未来あるいたてっ子を見守り応援していきたいと思います」。

そして3月31日、開所以来169人の笑顔が巣立ったやまゆり保育所は、17年間の歴史に幕を下ろしました。

式の後も園舎の前には、子ども達や保護者の姿が長い時間ありました。この場所で過ごしてきた思い出が次々によみがえり、立ち去り難いようでした。やまゆり保育所は4月から、村立の認定こども園「までの里のこども園」として、新たなスタートをきっています。開所以来続けられてきた一人ひとりに寄り添う家庭的な保育は、新しいこども園に引き継がれていきます。



いずれは売り出してみたい。楽しみだね

横山ユキイさん  
(前田・八和木)

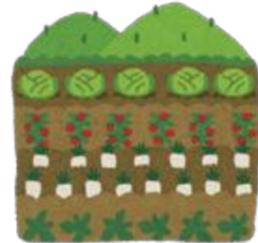


体はちっちゃこいけど、馬力はあるんだよ。昨年1年やってみて、あれがよかった、これがよかったと分かってきたし、これからが楽しみだね。やっぱり生きがいだ。農業が好きだったのね。牛も大好きだった。孫も3人おぶってやってたよ。「働く家庭から順に太陽は上がるんだよ」なんて例え話をしながらね。

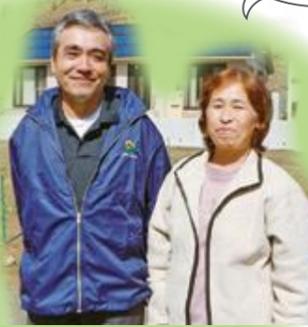
昨年つくった豆はうまかったから広めてみたい。避難をさせていたフキやミョウガも戻って来たから、いずれは売り出してみたい。ただただ楽しみだね。

けんかしいしいやるのも生きがいなんだなあ

壊した家で見つけたばあちゃんの野菜の本を読みながら。やってみると楽しいね



村内の家が昨年6月に完成し3人で戻って来た。夏になってから「生きがい農業」の申請をしたので、昨年は季節的につくるものが限られたけれど、今年は種類を増やしてやってみたいね。JTに協力してタバコの試験栽培も、やってみようかと思っているんだ。水田は委託して米もつくっている。今から冒険はできないが、やっぱりつくことは楽しみだ。買って食うのは簡単だが、そういうもんじゃない。村の補助は助かったよ。全部自分でだったら、こんなにはできなかったね。



佐藤公雄さん・好子さん  
(二枚橋・須萱)

避難中にはできなかった暮らし。私の生きがいです

高木ミヨ子さん  
(大倉)



畑はね、除染でいい土を持って行かれて山砂が入ったので、がっかりしていました。山に100本あった梅の木も、除染する時に切ってしまった。花が咲くときれいで、実は自由に採ってもらっていたの。昨年の7月に帰ってきて、それでも家で消費する野菜はつくろうと始めました。自分の健康のためですね。手で土をおこして、購入した牛の堆肥を入れて。野菜を毎朝採って食べました。避難中にはできなかった暮らしよね。ままごとくらいですが、本当に私の生きがい。ハウスもほしくなりました。



はじめてみませんか

# 生きがい農業

村は、販売を目的とした農業を「なりわい農業」、販売を目的としない農業を「生きがい農業」と名付け、それぞれに支援を行っています。

一番は土づくり二番は手間をかけること



佐々木謙一さん  
(佐須)

避難先の伊達市でも畑をやっていたが、それでも6年もの間、自分の農業ができなかった…という思いは、まだ心の奥に残っているよ。平成28年度からは、5品目の野菜の実証栽培をやっていたから、昨年は畑も大分なじんだ。村から堆肥をもらったから、今年はもっとよくなるだろう。いずれは思った所に出荷できるようにしたいね。村でつくられる野菜は、農薬も消毒も最低限。それでもいいものができる。一番は土づくり、二番には手間をかけているということだと思うよ。

村内での営農再開が、一步一步広がりを見せています。昨年度は「生きがい農業」に、当初の予想を大きく上回る約160件の取り組みがありました。2年目の春本番を前に、「生きがい農業」に取り組む皆さんの声を聞いてみましたよ。



はじめる前にぜひご相談ください！

## 「生きがい農業」再生への支援

補助対象経費×補助率50%※上限は50万円

復興対策課農政第一係にお越しく下さい。届出書にご記入をいただきます。毎月15日締切。  
※この補助は初回1回限り受けられます。  
※申請前に購入したものは対象外です。  
問 復興対策課農政第一係 ☎0244-42-1621

## 堆肥と電気柵の支援 ※村内の営農全般で支援

- 堆肥(上限1トン/反)
- イノシシ・サル対策用の電気柵等

復興対策課農政第二係にお越しく下さい。届出書にご記入をいただきます。  
※申請前に購入したものは対象外です。  
問 復興対策課農政第二係 ☎0244-42-1625

昨年の春から、「生きがい農業」に取り組んでいます。避難先でもやってはいましたが、戻って始める時は、大丈夫だろうかと悩みながらでした。今は季節に合わせて、種をまいたり苗を植えたり。つくった野菜を食べているおかげで健康なのだと思います。食べるものが一番大切ですからね。大好きな「おから餅」も久しぶりに作ってみましたよ。冬の間も体を動かすようにして、春からの農作業に備えていました。暖かくなってきて、やるのがたくさんあります。

久しぶりに「おから餅」をつくってみました



池田サツキさん  
(大久保・外内)



昨年4月、家族5人で帰ってきました。相馬市の仮設にいた時も、村が借りてくれた畑を14人でやっていました。動かないと体がどうなるか分からないからね。役場に行った時、「生きがい農業」の補助の活用を勧められた。自分達で食うだけでもいいからと言われて、世話になることにしたんだ。安心して食べられるよう、きちんと検査をして、家族にもおいしいと言ってもらっているよ。いろいろつくって楽しもうと思っています。

ご飯が終わるとまたずっと帽子をかぶって外に出て行きますね

ただはられないからね



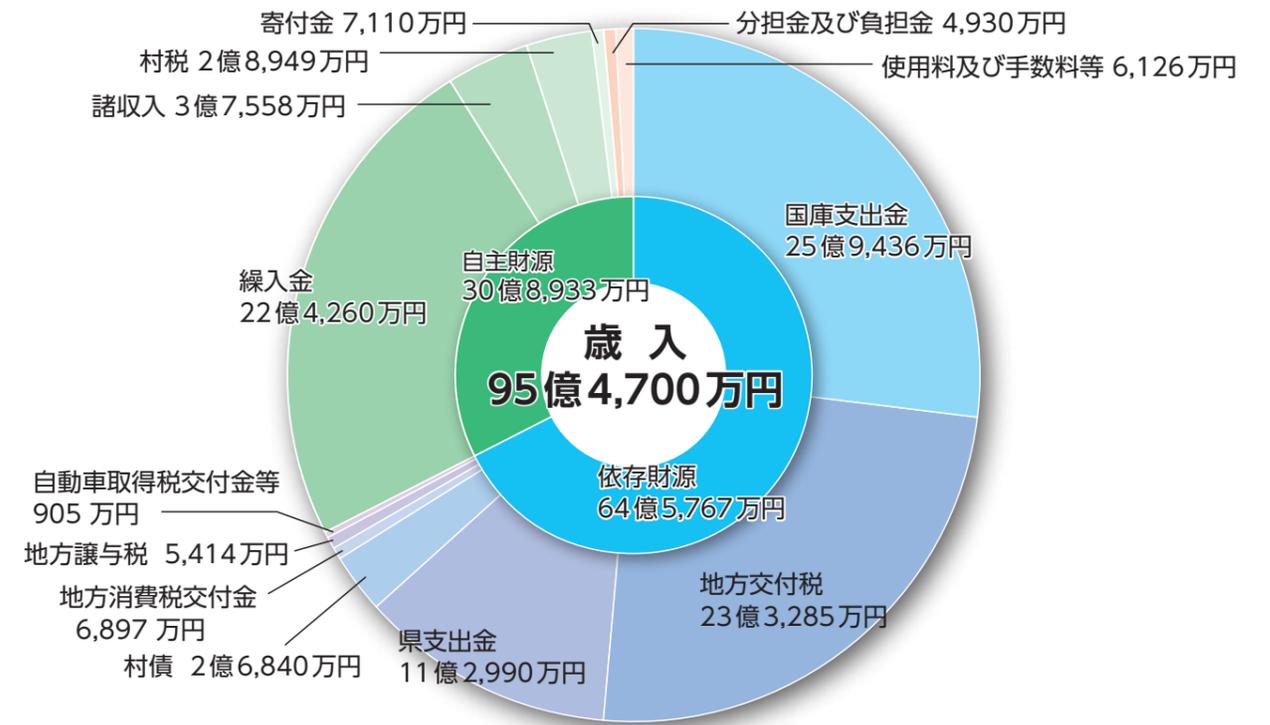
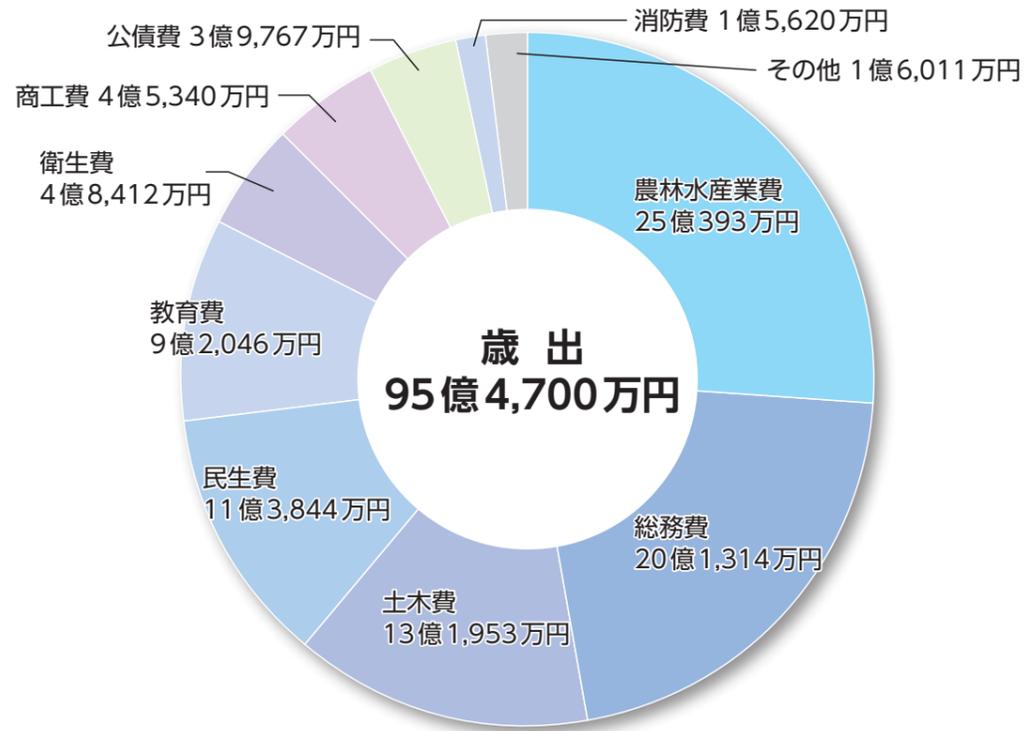
佐藤昭さん・令子さん  
(大倉)



# いいたて村発 復興行き「急行 新700」系

# 当初予算 95億4,700万円

復旧・復興事業費6割



平成30年度一般会計

## 歳出

平成30年度における村の支出総額

歳出予算総額のうち、震災前にはなかった復旧・復興の対応にかかる事業費は、約58億円、歳出予算総額の約6割を占めています。当初予算は、引き続き規律ある財政運営堅持を念頭に入れながら、村民が復興を実感できる施策、村外の方も参加できる村づくりを目指して「将来を見据えながら、タイムリ感を逃さず、スピード感を持って復興施策を展開する予算」としたものです。予算配分については、復興計画の5つの基本方針に沿って行っています。主な事業については12ページをご覧ください。

平成30年度一般会計

## 歳入

平成30年度における村の収入総額

自主財源 30億8,933万円  
依存財源 64億5,767万円  
歳入の大半を占める国庫支出金は、25億9,436万円、前年度に比べ43億4,477万円の減額。これは、国・県支出金を一旦、積み立てて使用する「帰還環境整備交付金基金」や「公共施設等整備基金」や「復興基金」「避難地域復興拠点推進交付金基金」等からの繰入金44億6,580万円が減額となったものです。

国民健康保険特別会計	9億7,064万円
簡易水道事業特別会計	1億1,309万円
農業集落排水事業特別会計	3億3,044万円
介護保険特別会計（事業勘定）	10億4,877万円
介護保険特別会計（サービス勘定）	877万円
後期高齢者医療特別会計	7,136万円

平成30年度

## 特別会計

特定の事業を特定の収入で行うため、一般会計とは分けて設けた会計です

### 確実な復興へ

平成30年度予算は、移住・定住・交流事業を最重点事業として取り組んでいくことと、「農業基盤整備促進事業」等、農業関連の事業により大型の当初予算となりました。  
(金額は端数処理をし、万円単位にしています。)

### 30年度当初予算

平成30年度当初予算は、平成30年第2回村議会定例会で3月19日に可決成立しました。一般会計予算は95億4,700万円、前年度に比べ11億8,800万円減、率にして55.0%の減ですが、当初予算の規模としては昨年にくらぶ大型予算です。震災前の平成22年度当初予算総額41億4,510万円と比較して、2倍を超えています。

### 基本方針③ 人と人がつながる

1. 飯館村「自分史」作成事業・・・630万円  
村民の人生・歴史と共に村の文化を記録する冊子の作成
2. 村づくり研修補助事業・・・45万円  
村民が自主的に行う研修事業に対して補助
3. パークゴルフ場整備事業・・・2億4,678万円  
整備予定規模 18ホール×2コース
4. 道の駅施設管理運営業・・・7,287万円  
いいたて村の道の駅までい館の運営管理やイベント事業
5. スポーツ交流事業・・・237万円  
各スポーツ教室の報償等



### 平成30年度最重点事業 移住・定住・交流事業

1. 移住・定住用分譲地整備事業・・・3,800万円  
移住・定住用分譲地測量設計・地質調査
2. 移住・定住者住宅取得支援事業・・・1,300万円  
住民票を村内に移して新しく家建てる、リフォームへの補助
3. 飯館村情報発信冊子作成事業・・・1,000万円  
移住・定住希望者向けのPR冊子
4. 新規就労活動支援事業・・・600万円  
移住者が村内で新たな職に就くことを条件に補助
5. ふるさと住民票企画支援事業・・・463万円  
ふるさと住民向けイベントの企画・運営



### 基本方針④ 原子力災害をのりこえる

1. 農業基盤整備促進事業・・・8億2,694万円  
帰還困難区域における特定復興再生拠点整備
2. 特定復興再生拠点エリア整備事業・・・2,634万円  
帰還困難区域における特定復興再生拠点整備
3. いちばん館改修事業・・・9,910万円  
老朽化等により破損している箇所の修繕
4. 仮施設等解体事業・・・2,506万円  
直売所なごみ等仮施設解体
5. 基盤総合整備事業（森林道路整備事業）・・・8,282万円  
林道舗装工事、林道舗装測量設計

## 平成30年度の 主な事業 と予算

今年度の主な事業の 予算額を紹介します。



### 基本方針① 生命（いのち）をまもる

1. 総合健診事業・・・5,070万円  
総合健診、特定健診、がん検診
2. 予防接種事業・・・2,684万円  
法定予防接種、任意予防接種等
3. 放射線相談支援事業・・・2,173万円  
村民が抱える放射線に関する健康相談活動
4. 仮設住宅等健幸づくり事業・・・305万円  
仮設住宅2か所などで実施
5. 内部被ばく検査事業・・・186万円  
受検者10% 600人目標



### 基本方針⑤ まいでいブランドを再生する

1. 個体一元化管理システム実証事業・・・3,800万円  
県が開発した個体一元化管理システムを活用した、ICT技術による繁殖和牛の個体管理実証
2. 避難農業者経営再開支援事業・・・750万円  
村外での営農再開に要する農業用機械、施設等の導入支援
3. 事業再開等支援事業・・・1,500万円  
3,000万円×補助率5%×10事業者
4. 福島県営農再開支援事業・・・5億7,237万円  
除染後の農用地保全による営農再開支援
5. 畜産再開素牛導入事業・・・1,440万円  
村内での畜産再開に要する素牛導入の補助



### 基本方針② 子どもたちの未来をつくる

1. 食育プラザ活用事業・・・200万円  
料理教室等
2. スポーツ公園オープニング事業・・・320万円  
イベント運営、パンフレット作成
3. 被災児童生徒等就学支援事業・・・3,847万円  
認定こども園、小・中学校での就学支援
4. 学力向上推進事業・・・1,857万円  
コミュニケーション力や思考力などを身につける出前授業等
5. 村塾事業・・・159万円  
上智大学との交流等



# 平成30年 第2回 飯舘村議会定例会



平成30年3月議会定例会は、3月2日から19日までの日程で開かれました。一般質問は7、8日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は19日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

- 体育施設夜間照明施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 帰還環境整備交付金基金条例の一部を改正する条例
- 避難地域復興拠点推進交付金基金条例を廃止する条例
- 農林漁業体験実習館の指定管理者の指定について
- 健康増進交流施設の指定管理者の指定について
- 地域資源活用総合交流施設の指定管理者の指定について
- 大倉辺地に係る総合整備計画の策定について
- 村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例

## 今議会で可決された議案等

(紙面の都合上、一部省略しています)

- 平成29年度一般会計補正予算
- 平成29年度国民健康保険特別会計補正予算
- 平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算
- 平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算
- 平成29年度介護保険特別会計補正予算
- 平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算
- 平成30年度一般会計予算
- 平成30年度国民健康保険特別会計予算
- 平成30年度後期高齢者医療特別会計予算
- 平成30年度農業集落排水事業特別会計予算
- 平成30年度簡易水道事業特別会計予算

## 村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

### 帰還困難区域・長泥地区の復興拠点エリア設定について

帰還困難区域における「特定復興再生拠点整備計画」を策定するに当たっては、地区内の復興拠点エリアの設定が必須条件です。今までに地元の役員を対象にした説明会や臨時区会などを精力的に開催し、協議を進めてきました。

その結果、2月25日開催の臨時区会において、エリアの設定がまとまりましたので、このエリアについて速やかに国及び県と協議してまいります。この協議が整い次第、エリア内に整備する様々な事業を取りまとめ、「特定復興再生拠点整備計画書」を県に提出したいと考えています。

- 平成30年度簡易水道事業特別会計予算
- 平成30年度農業集落排水事業特別会計予算
- 平成30年度介護保険特別会計予算
- 平成30年度後期高齢者医療特別会計予算
- 人事行政の運営等の状況の公表に関する条例
- 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例
- 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- 使用料条例の一部を改正する条例

## 村復興アドバイザーの委嘱について

元原子力規制委員会委員長田中俊一さんに、2月1日付で委嘱状の交付を行いました。期間は、平成32年3月31日までの約2年間です。

田中さんは震災直後、長泥地区に入り家屋等の除染をはじめ、村の除染アドバイザーとしても関わりをもっていたいただきました。今後は、専門の放射線に限らず、学校への関わりや村の復興全般にわたり適切かつ的確なアドバイスをいただけるものと大いに期待をしています。

## ありがとうホスタウン

2020年東京オリンピックに関連して「ありがとうホスタウン」構想を国が進めています。この事業により、かねてから交流のあったラオス人民民主共和国に、いいたてスポーツクラブ理事など4人を派遣し、文科省職員と共に関係者と協議をしています

- 国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 介護福祉条例の一部を改正する条例
- 指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

## 住民課関係

### 浄化槽整備事業は、1月31日現在83件の申請を受けています。うち、新築家屋は58件です。次に、おかえりなさい補助金は12月8日に200件を達成し、1月31日現在では219件となっています。

次に、高速道路の無料化は、「ふるさと帰還通行カード」を利用する方法に変わりました。1月31日現在で978人が申請しています。

## 村民の状況

村民の帰還状況は、3月1日現在の村への帰村者は260世帯、537人で、震災後の転入者が42人です。これに、未避難者といいたてホームの入所者を合わせ、村内の居住者は320世帯、618人です。

避難を継続している方の状況は、県外避難者が297人、県内避難者は、福島市に3、174人、川俣町に428人など、合わせて4、934人です。

### 飯館村薬局開設協議会

村内での薬局開設について、昨年11月末に「飯館村薬局開設協議会」を設立し、30年度内の開設を目指し、県薬剤師会など関係者による会議を2回ほど開催しています。

### 農業を再生する取り組み

避難指示解除1年目というところで、農業を再生する取り組みを強力に進めてきました。

営農再開ビジョンを定めて、村民の皆さまにさまざまな「農」への関わり方を提案し、生きがい農業や営農再開支援事業など、国、県の農政関連事業を最大限に活用してきました。

この支援体制により、現在までに19地区で農業復興組合の活動が展開、「生きがい農業」は約160件、「なりわい農業」は約50件、「新たな農業」は12件が着手されており、被災前の農家1200件の約20%にあたる約240件が、何らかの形で「農」に関わっています。

### 村内産農産物

県の緊急時モニタリング検査を推進し、イチゴ、繁殖和牛、サイインゲン、カスミノウ、小菊、トルコギキョウ、アルストロメリア等の市場取引が再開しているほか、道の駅までい館でも村内産の野菜・お米・銀杏・山野草等が販売されています。



### 鳥獣被害対策

鳥獣被害対策として、被害対策実施隊により、現在までイノシシ204頭、サル19匹を駆除しており、被害防止用の柵も、総延長12.75km整備済みとなっています。

### 除染関係

平成29年度までに同意を頂いた宅地、農地、森林、道路等の面的除染を完了し、地力回復工事の本年度施工分も11月に完了しています。一部は来年度に繰越をするとの報告を受けています。

### 片付けごみの回収

12月までに屋内ごみ及び農林系可燃物等は724件、屋外ごみ、長尺物等は902件回収しました。なお、環境省による「片付けごみの回収」は、本年度で終了となります。

長泥地区についても、12月25日から環境省による回収を実施しています。

### 井戸掘削について

東京電力の賠償による井戸掘削は29件の補助申請があり、24件が完了しています。

### 宿泊体験館「きんご」

昨年5月の素泊まり営業再開以降、1月までの利用者は1,432人。このうち、村民の利用は、232人です。なお、入浴施設の利用者は、3,145人でした。

また、あいの沢管理棟及び民家園ふるさと、あいの浮橋、宿泊体験館きごりの改修工事は完了しています。



### 村営住宅の入居状況

村営住宅の入居状況は、入居可能戸数69戸に対し、56戸が入居中又は手続き中で、空き室は13戸です。

### 昇口舗装

昇口舗装ですが、全体593件のうち、完了は454件で、全体の進捗率は約76%となっています。現在47件が工事中で、繰越事業となる予定です。

### 飲料水安全確保対策交付金事業

長泥、蔵平、比曾、前田・八和木の4行政区の、飲料水安全確保対策交付金事業については、申請81件中、66件が完了しています。進捗率は約81%となっています。

### 被災家屋の解体

被災家屋の解体ですが、全体で1,365件のうち、1,014件が完了しています。進捗率は約74%です。

### 教育課関係

冬場に入り、雪の影響から1月23日に臨時休校の措置を取っています。中学校についてはインフルエンザの流行が見られましたので、1年生が1月23日から3日間学年閉鎖となりました。

### みらい議会

2月1日、小学6年生が議員となり「飯館村みらい議会」を開催しました。小学生議員からは、村の復興をPRする「音楽フェスティバル」や「ドローンの専門学校」、「どぶろく特区を活かした美味い物体験館」などの提案が出されました。



### 長野県松本市交流体験

長野県松本市からご招待があり、冬休み期間中に19人の子どもたちが2泊3日の交流体験を楽しみました。この7年間に計10回、380人が招待を受けています。



### 北塩原村雪つ子体験事業

2月4日には北塩原村から雪つ子体験事業の支援を受け、16人の子どもたちとその保護者が参加してきました。

### 成人式

1月7日に、成人式を開催しました。式には、新成人57人中37人が出席し、多くのご来賓に見守られ、晴れて大人の仲間入りを果たしました。



## 農業委員及び農地利用最適化推進委員の推薦・募集について

農業委員会等に関する法律の一部改正により、農業委員の選出方法がこれまでの選挙制から、村長が農業者等に推薦を求め、募集を行い村議会の同意を得て任命する方法に変わりました。また、新たに各担当区域において農地利用の最適化（担い手への農地の集積・集約化・耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進等）を推進する農地利用最適化推進委員が設けられ、農業委員会によって委嘱されることになりました。

村農業委員会では、次のとおり農業委員及び農地利用最適化推進委員の募集を行います。

### ● 募集期間 … 4月2日(月)～5月1日(火)

#### ● 主な職務の内容

- (1) 農地の権利移動、転用許可等の審議及び決定並びにこれらに関連する聞き取り及び現地調査  
※ただし、農地利用最適化推進委員は決定ではなく助言を行うものとする
- (2) 担い手への農地の利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消並びに新規参入の促進等に伴う現地調査及び指導並びに監視業務等
- (3) 農家からの相談対応及び農家への助言・指導

#### ● 募集内容

農業委員に担当区域はありませんが、農地利用最適化推進委員は担当区域ごとに募集を行います。

	地区	区域	定数
農業委員	全域	全域 ※定数の過半数以上が認定農業者であること、また1人以上の中立的な立場の者の選任が法律で義務付けられています。	7人
農地利用最適化推進委員	草野地区	草野、深谷、伊丹沢、関沢、小宮、八木沢・芦原、大倉、佐須、宮内	6人
	飯樋地区	飯樋町、前田・八和木、大久保・外内、上飯樋、比曾、長泥、蕨平	5人
	白石地区	関根・松塚、白石、前田、二枚橋・須萱	2人

#### ● 任期

【農業委員】平成30年7月8日から平成33年7月7日まで

【農地利用最適化推進委員】

農業委員会が委嘱する日（平成30年7月8日以降）から平成33年7月7日まで

#### ● 報酬額 ※活動により予算の範囲内で費用弁償が支払われます

農業委員・農地利用最適化推進委員 年額222,000円

農業委員会会長 年額295,000円

#### ● 推薦、応募の資格、応募の方法については、村ホームページまたは同封したチラシをご覧ください。

詳しくは、農業委員会事務局まで問い合わせください。

問 飯館村農業委員会事務局 (☎0244-42-1629) 〒960-1892 飯館村伊丹沢字伊丹沢580-1



▲イラストレーター・わたせせいぞうさん(左)



▲ふるさと住民票第1号の佐藤道子さん



▲ふるさと住民票のデザイン。右側がわたせさんデザインです

**住所がなくても、村民に**  
3月10日、村役場で村が新しくはじめる交流事業制度「ふるさと住民票」の記者発表が行われました。この制度は、村に住民票がなくても、村に興味・関心がある方に「ふるさと住民票」を発行し、村の魅力を感じてもらえるようなイベントや1日村長体験等を通して村とのつながりを深めてもらうものです。  
住民票のカードは全3種類。そのうち1種類はイラストレーターのわたせせいぞうさんが村の花やマユリやカスミソウを描いたものです。  
ふるさと住民票は、村ホームページや窓口で無料登録できます。村に関心をお持ちの方や応援くださっている方に、ぜひお知らせください。

### 「あたりまえをありがたいと思う日」宣言

気づいたのです 原発事故の避難で  
あたりまえが 実はちっとも  
あたりまえじゃなかったこと  
あたたかなご飯が 食べられること  
畑の採れたて野菜が 味わえること  
家のお風呂に ゆっくり浸かれること  
家族が 一緒に笑っていられること  
あの日 なくした あたりまえが  
恋しくて 恋しくて 泣いて  
そして 気づいたのです  
あたりまえと 思っていた 毎日は  
たくさんの 尊い営みや思いやりや愛情で  
大切に つむがれていたのだと  
飯館村は 3月11日を  
「あたりまえをありがたいと思う日」に  
制定します  
あたりまえの日々への 感謝を忘れないために  
あたりまえの本当の意味を  
未来に伝えたいから  
平成30年3月11日 飯館村



▲式には高木陽介衆議院議員(左端)も出席しました

**日常に、あたりまえに、感謝**  
村は、避難生活の中で感じた  
何でもない日常への感謝を忘れ  
ないために、東日本震災が発  
生した3月11日を「あたりまえ  
をありがたいと思う日」に制定  
しました。  
村役場で行われた宣言式では、  
上田秀さん(草野) 大谷結美さ  
ん(飯館中3年) 木幡圭吾さん  
(飯館中2年) が避難生活で感  
じた「あたりまえをありがたい  
と思う」エピソードを話し、宣  
言を読み上げました。村では、  
今後は3月11日に、あたりまえ  
に感謝を感じられるようなイベ  
ント等を行う予定です。

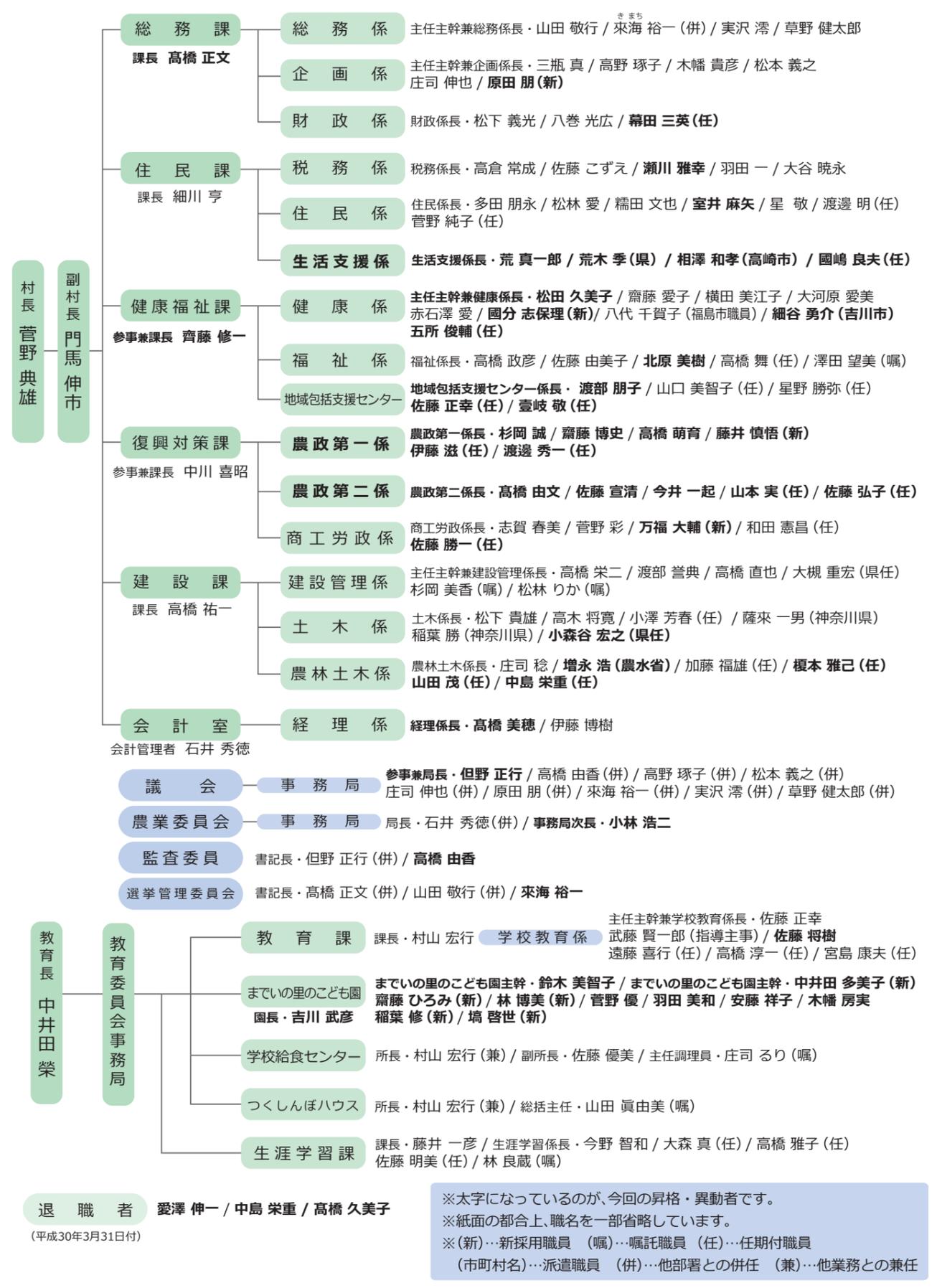
# 飯館村役場 各係連絡先

4月1日より、農政第一係、農政第二係を新設し、生活支援係が松川第一応急仮設住宅集会所で業務を行います。

本庁	総務課	総務係 ☎ 0244-42-1611	消防・防災、選挙、法令、行政区長会、情報公開等
		企画係 ☎ 0244-42-1613	復興拠点整備、広報・広聴、住民懇談会、統計等
		財政係 ☎ 0244-42-1612	予算・決算、入札、地方交付税、ふるさと納税・義援金等
	住民課	住民係 ☎ 0244-42-1617	戸籍、各証明発行、国民健康保険、後期高齢者医療、ごみ、防犯、浄化槽、畜犬等
		税務係 ☎ 0244-42-1615	地方税の賦課・収納、所得税・住民税の申告相談、各税証明発行等
		生活支援係 ☎ 024-563-5528	仮設住宅・公的宿舍・県借上げ住宅の退去及び施設の維持管理、住民相談窓口、自治会運営等
本庁	建設課	建設管理係 ☎ 0244-42-1624	村営住宅整備・維持管理、簡易水道・農業集落排水施設の維持管理等
		土木係 ☎ 0244-42-1623	道路、橋梁、河川整備・維持管理、建物解体、昇口舗装等
		農林土木係 ☎ 0244-42-1610	農業基盤整備、農林土木施設の整備・維持管理等
	復興対策課	農政第一係 ☎ 0244-42-1621	生きがい農業、なりわい農業、認定農業者、新規就農、農業振興計画、畜産、林業、水田農業、土地改良区等
		農政第二係 ☎ 0244-42-1625	除染対策、環境再生事業、農作物モニタリング調査、農業復興組合、作付実証、鳥獣被害対策、中山間事業、多面的支払交付金等
		商工労政係 ☎ 0244-42-1620	企業支援、就労・雇用支援、観光関係、原発事故賠償等
会計室	☎ 0244-42-1627	村行政に関する会計業務	
教育課	学校教育係 ☎ 0244-42-1631	認定こども園、小中学校、学童保育、預かり保育、スクールバス、学校給食センターの運営等	
農業委員会事務局	☎ 0244-42-1629	農業委員会運営に関すること	
議会事務局	☎ 0244-42-1628	村議会運営に関すること	
交流センター	生涯学習課	生涯学習係 ☎ 0244-42-0072	生涯学習事業、青少年事業、スポーツ公園、文化財保護、読書推進、伝統文化関係等
いちばん館	健康福祉課	健康係 ☎ 0244-42-1637	健康増進、健診、子育て相談、予防接種等に支援等
		福祉係 ☎ 0244-42-1633	高齢者福祉、介護保険、介護認定、介護予防、保育所、児童手当、子育て支援等
		包括支援センター ☎ 0244-42-1626	高齢者総合相談、高齢者権利擁護相談、介護予防ケアマネジメント等

# 平成30年度 村の組織と職員の配置

平成30年4月1日付で、職員の人事異動が行われました。平成30年度の体制は次のとおりです。



退職者 愛澤 伸一 / 中島 栄重 / 高橋 久美子  
(平成30年3月31日付)

※太字になっているのが、今回の昇格・異動者です。  
※紙面の都合上、職名を一部省略しています。  
※(新)…新採用職員 (嘱)…嘱託職員 (任)…任期付職員  
(市町村名)…派遣職員 (併)…他部署との併任 (兼)…他業務との兼任

## 「飯館を掘る」を出版 佐藤昌明さんが来庁

「飯館を掘る―天明の飢饉と福島原発」を出版した佐藤昌明さん(飯樋町出身)が来庁しました。佐藤さんは新聞記者。その手腕を生かして友人・知人取材し、出身者ならではの視点で村の被災を分析しています。また、歴史資料を紐解き、天明の飢饉で人口が激減した江戸時代の状況と、原発事故による被災状況との間に不思議な共通点を見出し、先人の復興に学ぼうとしています。2年がかりの取材で「歴史学の観点から全村避難を見つめた」という渾身の1冊です。



表紙のオビに書評を記す哲学者・高橋哲哉氏は高校時代の同級生。氏のインタビュー記事も掲載

## 開通前のトンネル内を歩く 八木沢トンネル見学会

村と南相馬市原町区を結ぶ県道原町川俣線(県道12号線)の八木沢トンネル(延長2345m)が完成し、3月1日、現地で見学会が開かれました。村からは、飯館中学校の生徒などが、バスに乗り現地へ。トンネル内の村境付近で、道路の役割やトンネルの仕組みについて、県の担当者から説明を聞きました。八木沢トンネルは、3月18日に開通。村側のトンネル入り口には、飯館中学校新3年生の細杉れいみさんが揮毫した銘板が取り付けられています。



バスでトンネルの中央部へ。トンネル内を歩いてゆっくり見学できるのは開通前ならではの体験

## バレーボールで全国大会へ 佐藤誠さんの活躍を激励

「第15回全国スポ少バレーボール交流大会」に出場する佐藤誠さん(福島市立瀬上小学校6年生)に、村が激励金を贈りました。佐藤さんは、避難先の福島市で、小学4年生から岡山スポ少バレーボール部に所属。現在は173cmの長身を生かし、レフトのアタッカーとして活躍しています。3月13日の激励金交付式に来庁した佐藤さんは、「練習で学んだことをしっかり出して優勝を目指したい」と抱負を述べました。小学校卒業後は、勧誘を受けた東京都の私立中学校へ進学します。



佐藤さん(右)に激励金を手渡す菅野村長。「避難先の努力の結果。全てを人生の糧に頑張してほしい」

## 農業・産業再生へ協定締結 東京大学大学院農学生命科学研究科

村は、3月5日、東京大学大学院農学生命科学研究科と、協定を締結しました。同研究科は、震災後これまでも、村の農業・畜産などの再生に向けた実証や技術開発に取り組んできましたが、課題解決に向け、さらに連携を深めるため、改めて協定を締結したものです。締結式は、村役場本庁で行われ、菅野村長と丹下健研究科長が協定書に署名を行いました。同大学の教員や学生・院生らが村内で活動したり、村民と協働・交流したりすることも、村の活性化につながると期待されます。



署名した協定書を手にする丹下研究科長(中央)、菅野村長(左から2人目)と列席した関係者

## 新しい駐在所を開所 南相馬警察署飯館駐在所

南相馬警察署飯館駐在所の開所式が、3月17日に行われました。式には松崎幸夫南相馬警察署長や村の関係者合わせて約50人が出席。テープカットなどを行って、開所を祝いました。

老朽化に伴う建て替え工事で、今年1月に完成した新しい駐在所は、トイレをバリアフリー化した他、授乳室・相談室などを新設しています。また、震災以降これまで、日中のみの駐在所となってきましたが、現在は、昼夜を問わず警察官が駐在所パトロール業務などを行っています。



交流センター「ふれ愛館」と消防飯館分署に隣接。来所者用の駐車場も駐車しやすくなりました

## 毎日をいきいき お手本です いいたて元気アップ・ポイント

3月7日、県青少年会館(福島市)の体育館で、「いいたて元気アップ・ポイント事業」の表彰式が行われました。これは、対象事業に参加するたびに付与されるポイントを集め50ポイントを獲得した方に、表彰状と記念品を贈呈する事業です。ポイントが加算されるのは、生涯学習課が主催する講座やイベントへの参加、図書貸出の利用、施設開放の利用、スポーツ交流会への参加など。いきいきと活動し積極的に交流する皆さんに敬意を表し、ますますのご活躍を応援するものです。



表彰は年に2回行っています。50ポイントを獲得した4人のうち3人が表彰式に参加しました



テレビや新聞の記者が数多く集まりました

村で唯一の帰還困難区域・長泥行政区の復興に関する「特定復興再生拠点区域復興再生計画（案）」がまとまり、村・村議会・行政区が記者発表を行いました。計画案は、「居住促進ゾーン」「農の再生ゾーン」など約186haの範囲を平成35年春までに整備し、避難指示が順次解除されることを目指しています。この計画案は、同日県へ提出されました。

きつつきの会（齋藤政行会長／前田）が、1泊2日の研修旅行を実施し、職員派遣や招待事業などで、長期の支援をいただいている群馬県高崎市を訪れました。一行は、高崎市役所を訪問し、復興の現状などを報告。応援職員として村役場に勤務した方々とも会い、「お世話になりました」「おかげさまで一歩一歩復興が進んでいます」と感謝を伝えました。



応援職員としてお世話になった皆さんと交流



「希望が持てる計画ができた」と鳴原良友区長(左)

長泥行政区

3/8

2/19-20

きつつきの会  
(川俣自治会)



高崎市役所のホールにて職員さん達と記念撮影



体に良い材料を使い心をこめて1枚1枚を手作り

食を考える会

3/12

2/24

交流センター  
ふれ愛館



約150人がお茶とケーキ付きでライブを満喫



10人の会員が中学校を訪れ祝い菓子を手渡しました

「食を考える会（菅野一代会長／比曾）」が、飯館中学校の3年生に「卒業祝い菓子」を贈りました。祝い菓子のクッキーは、ホウレンソウ入りと、顆粒大豆・白ごま入りの2種類。当日の朝、地域活性化センター「いちばん館」で手作りしました。中学校では菅野会長があいさつし、「中学校を新しい村の学校にしたいと考えて、ありがとう」と感謝を伝え、卒業を祝いました。

交流センター自主文化事業「いたてティーパーティー」の二環で開かれた「白崎映美&東北6県ろくろのショー!!」。東北に想いを寄せる実力派ミュージシャンが集結し、ロックやジャズに、民謡や民俗芸能を融合させた祝祭音楽を演奏。魂を揺さぶる熱いライブで聴衆を魅了しました。また、飯館中学校の生徒達が、伝承に取り組む田植え踊りを披露。ステージを盛り上げました。



田植え踊りを披露した中学生とのセッション

# 入札結果をお知らせします

入札日 / 1月10日 (単位: 円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
大火地区道路敷用地測量業務	10,044,000円	株船橋コンサルタント	平成30年3月下旬
ふるさと住民票制度策定支援業務	2,107,080円	(一社)構想日本	平成30年3月下旬
深谷地区多目的交流広場施設建設基本計画策定業務	1,944,000円	株佐川旭建築研究所	平成30年3月下旬
深谷地区多目的交流広場基本計画策定業務	1,911,600円	株ヘッズ東京本社	平成30年3月下旬
総合行政システムホスティング環境移行業務	7,371,000円	株福島県中央計算センター	平成30年3月下旬
地上デジタル放送再送信事業工事	26,913,600円	株T T K	平成30年3月下旬
地上デジタル放送再送信事業工事監理業務	1,090,800円	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成30年3月下旬
無線システム普及支援事業(携帯電話等エリア整備事業) 飯館村移動通信用鉄塔施設N T T ドコモ用通信設備工事	12,474,000円	株ミライト 東北支店	平成30年3月下旬
無線システム普及支援事業(携帯電話等エリア整備事業) 飯館村移動通信用鉄塔施設KDDI用通信設備工事	12,204,000円	サンワコムシスエンジニアリング(株)	平成30年3月下旬
メモリアルホールいいたてフェンス設置等工事	2,700,000円	株古俣工務店 川俣支店	平成30年3月下旬
いちばん館改修工事調査設計業務	3,542,400円	株邑建築事務所	平成30年3月下旬
介護保険事務処理システム変更業務	1,597,320円	株福島県中央計算センター	平成30年3月下旬
民家園ふるさとエアコン設置工事	2,106,000円	有長谷川電気工事	平成30年2月下旬
被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 農業用機械導入事業(ホイールローダー1台及び飼料混合機一式)	8,478,000円	株渡辺機械	平成30年3月下旬
桶地内団地建替造成工事	34,560,000円	株英工務店	平成30年3月下旬
桶地内団地建替造成工事監理支援業務	2,462,400円	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成30年3月下旬
村道久丸内線橋梁下面機能回復工事	4,860,000円	濱田建設工業(株)	平成30年3月下旬
基盤整備促進事業 飯館2期地区 割木第1	2,430,000円	有渡建工業	平成30年3月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯館西部その1) 用排水路施設等保全工事	48,384,000円	濱田建設工業(株)	平成30年3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(学籍用保管庫)	2,359,800円	有マルショウ事務機	平成30年3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(職員室収納等)	6,210,000円	株大一事務機	平成30年3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(児童会室・生徒会室/音楽室等備品)	5,270,400円	株大一事務機	平成30年3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(小学校校長室、相談室、ランチルーム等備品)	5,808,780円	北日本紙業(株)	平成30年3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(PC室等備品)	8,203,680円	株サトウ教材社	平成30年3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(中学校更衣室備品)	1,151,280円	有マルショウ事務機	平成30年3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(校長室(小学校/中学校))	1,522,152円	北日本紙業(株)	平成30年3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(中学校校長室/児童会生徒会)	1,188,000円	福島県土地改良事業団体連合会	平成30年3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(加湿器)	1,047,600円	北日本紙業(株)	平成30年3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(認定こども園及び学童保育用事務用備品一式)	1,733,400円	有マルショウ事務機	平成30年3月下旬
学校等再開整備事業備品購入(中学校体育館(舞台吊物幕等))	10,221,984円	北日本紙業	平成30年3月下旬
認定こども園木製遊具購入	4,482,648円	(特非)芸術と遊び創造協会	平成30年3月下旬
小中学校ICT教育環境機器導入事業 校務用情報端末等機器貸借	31,683,960円	株福島県中央計算センター	平成30年3月下旬
飯館村スポーツ公園備品購入(コインシャワーパネル)	2,332,800円	シオヤ産業(株) 原町営業所	平成30年2月下旬
飯館村スポーツ公園備品購入(人口芝管理用付属機械)	2,214,000円	株カゲヤマ	平成30年3月下旬
飯館村スポーツ公園備品購入(事務用品)	7,519,500円	北日本紙業(株)	平成30年3月下旬
飯館村スポーツ公園備品購入(スポーツ用品)	5,151,600円	株オノヤスポーツ	平成30年3月下旬



お知らせ

## 百歳のお祝い 大東春子さん(宮内)に賀寿



- 家族 … 子ども6人、孫13人、ひ孫25人、やしやご3人
- 長生きの秘訣 … 好き嫌いなく自分で食べること。畑仕事に長年励んできたこと。



▲いいたてホームでご家族に囲まれる春子さん(中央)

3月21日、大東春子さん(宮内)が百歳の誕生日を迎えました。同日、大東さんが入所する特別養護老人ホーム「いいたてホーム」で賀寿が行われました。県や村、村社会福祉協議会等が記念品を大東さんに手渡ししました。

家族を代表し、長男の勇さんが「施設職員の皆さんの優しく温かい介護のおかげです」と感謝を述べました。

### 3月の村の動きと主なできごと

- 1日・八木沢トンネル見学会(八木沢トンネル)
- 4日・小中学校・認定こども園 校舎・園舎の内覧会(伊丹沢地区現地)
- 5日・東京大学大学院農学生命科学研究科との協定締結式(村役場本庁)
- 5日・3月議会定例会(村役場本庁議場)
- 6日・仮設住宅・公的宿舎管理人会議(飯野支所)
- 7日・飯館村特定復興再生拠点区域復興再生計画案の記者発表(村役場本庁)
- 8日・飯館村土地改良区理事会(村役場本庁)
- 10日・ふるさと住民票お披露目及び交付式(村役場本庁)
- 10日・相馬福島道路霊山飯館IC開通(現地)
- 10日・11日・スポーツ公園利用準備委員会研修(宮城県)
- 11日・あたりまえをありがたと思う日宣言記者発表(村役場本庁)
- 13日・飯館中学校卒業式(飯館中学校仮設体育館)
- 16日・草野・飯館幼稚園 修了式(草野・飯館幼稚園仮設園舎ホール)
- 17日・南相馬警察署飯館駐在所開所式(草野地区現地)
- 18日・八木沢トンネル開通(八木沢トンネル)
- 20日・学校運営協議会(飯館中学校)
- 21日・大東春子さん 百歳賀寿(いいたてホーム)
- 22日・定例教育委員会(村役場本庁)
- 23日・草野・飯館・白石小学校卒業式(草野・飯館・白石小学校仮設体育館)
- 23日・第3回農業委員会定例会(村役場本庁議場)
- 24日・やまゆり保育所 修了式・閉所式(やまゆり保育所仮設施設)
- 24日・仮設直売所「なごみ」閉店セレモニー(福島市松川町現地)
- 26日・水道事業・農業集落排水事業運営審議会(村役場本庁)
- 27日・第4回相馬農業高校飯館校の在り方に関する検討協議会(県庁)
- 28日・飯館村土地改良区通常総会(交流センター「ふれ愛館」)
- 28日・転出教職員合同離任式(村役場本庁)
- 29日・相農飯館校の再生を考える会(村役場本庁)
- 29日・草野・飯館幼稚園閉園式(草野・飯館幼稚園仮設園舎)
- 29日・草野・飯館幼稚園閉園式(草野・飯館幼稚園仮設園舎)
- 30日・飯野支所閉所式(飯野支所)
- 30日・仮設直売所「なごみ」閉店(福島市松川町現地)

菅野 一代さん (比曾)



飯館村食を考える会及び相双地区生活改善推進協議会の会長。震災後は村社会福祉協議会に勤務。現在は福島市の小学校で特別支援協力員を務めます。

震災の時、比曾の家には、12人が住んでいました。村の家は広がったし離れもあつたので集まって暮らせたんですね。母屋は築160年の古民家でした。リフォームできずに解体しましたがもったいなかったですね。離れだけリフォームし、古い家は梁と柱だけとつてあります。避難先の住宅では、以前のような訳にもいかず、次第に分かれて暮らすようになりました。

避難した中で「食を考える会」をどうするか、考えました。1年目は顔を合わせるだけでもと集まり、2年目は仮設住宅で炊き出し。少しずつ避難先でできることを増やして活動し、相双地区の他の会から「飯館さんが頑張っているから人数が減っても復活させます」などと言ってもらえるようになりました。これからは食文化やレシピの記録を残し若い人達につなぎたい。興味のある人が入りやすいよう間口も広げていきたいです。

震災のあの日は、仲間と開発していた「までい揚げ」のレシビが完成した日でした。その頃の私は、加工組合の活動も楽しく、グリーンツーリズムの夢も高まっていた。震災がなかったら、どんな生き方ができていたでしょうか。震災後は村の社会福祉協議会で生活支援相談員の仕事をしました。見よう見まねだった農業をもっと知りたくて、矢吹町の県立農業短期大学校にも通いました。それでも村にいたあの頃には全く近づけていないと感じます。

震災の時、家族に妊婦が3人いました。お嫁さんと2人の娘です。その3人の孫が、この春そろって小学生になりました。1人は村の小学校へ。後の2人は避難先での入学です。それぞれの親が、決断しました。自分達で考えて、動き始めています。皆の背中を押して応援してきたつもりが、私が一番遅れていたんだと気がつきました。仲間と描いていた夢にもう一度近づきたい。今でも本当は村に戻りたい。子ども達の決断に、背中を押されるような気がします。

こころのぽけっと

ふたつの涙

あつという間に1年が過ぎ、また卒業式の季節が終わろうとしています。子ども達も、仮設校舎最後の卒業生ということだと思い入れにも特別なものがあつたようです。私の思い入れは「今年の中学校の卒業式ほど、泣かされたことはなかった」であります。今年の中学3年生は、1年生に入ってきた時、校長先生にお願いし、話し合いの場をつくってもらった学年でした。「君達が3年生になる時、村の学校に通学するか、転校するかは選択になる」「若い君達に、こんなつらい選択をさせることは本当に申し訳ないが、いずれこれらの人生には、今回のことが必ずプラスになるはずだから」というような話をし、大泣きさせてしまった生徒達でした。卒業生代表の答辞の中の「私達の3年間のがんばりのことは、あの校長さんとの話し合いがスタートでした」という言葉に、涙を流さずにはいられません

もうひとつの涙があります。これから3年生になる生徒22人全員に、村の中学校に通っていただけるそうです。「高校受験をひかえた大切な1年間になるのに、通学時間をかけてまで、なぜ？」との私の疑問に「飯館中の卒業証書が欲しいから」だそうです。多くの方々のおかげで、村の思いが子ども達に確実に伝わっているんだなとこれ又胸キュンになり、涙を流してしまいました。涙ばかりのダメな村長です。

でも、このふたつの出来事から、ある僧侶の言葉が頭をよぎりました。病気になるのも「おかげさま」、災難にあつたのも「おかげさま」、苦労するのも「おかげさま」…。山あり谷ありの数だけ、君は君らしくなるんだよ。だそうです。

平成30年3月26日 飯館村長 菅野 典雄



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
佐藤 心陽ちゃん	拓・絵里	飯樋町
佐藤 健と翔くん	隆一・明美	飯樋町
細山 晴永ちゃん	巴幸・百合奈	飯樋町
高橋 徹真くん	祐樹・祐子	比曾

すくすくと元気に育ってね



おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 トシヨ	88	草野
菅野 トミヨ	94	伊丹沢
佐藤 政子	89	上飯樋
小西 高夫	90	伊丹沢
古山 キクエ	85	大久保・外内
菅野 チイ	81	長泥
佐藤 絹子	83	大久保・外内
佐藤 嘉兵衛	95	宮内
大村 キク子	88	関沢
阿久津 あぎい	84	草野

(2月21日から3月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

平成30年2月28日現在		2月1日~28日までの人口動態	
人口	今月 (前月比)	◆◆人口動態◆◆	
男	2919人 (-6)	転入	5人
女	2931人 (-8)	転出	13人
計	5850人 (-14)	出生	4人
世帯数	1803戸 (-3)	死亡	10人 (住民基本台帳人口)

おしえてくんちえ! 堀先生

心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

相談

春は、やらないといけないことがたくさんなのに、「できないこと」が嫌になってしまいます。

堀先生

春は、はじまりの季節です。しかし中には、自分の行くべき方向に迷っている人もいるかもしれません。時には、「自分や他人を追い詰めないようにする」のが、難しいこともあります。社会が安定していて、やるべきことが明確な時代ならば、自分の仕事を完璧にやり遂げることも不可能ではありませんでした。しかし、見通しのつかない、みんなが違う考えを持つ時代ではそうではありません。自分の仕事も他人の仕事も、やり遂げられない感じがあっても追い詰め過ぎないようにしましょう。



精神科医 堀有伸先生 ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1638まで



3/23

### 飯舘村立草野・飯樋・白石小学校



吉川武彦 校長

6年前、仮設校舎に最初に入  
学し、仮設校舎で最後の卒業  
生となった皆さん。応援・支  
援に支えられ立派に成長してく  
れました。いいたてっ子の誇りを  
胸に前へ進んでほしいです。

6年間笑って泣いた仮設校舎  
の思い出を、いつまでも忘れま  
せん。在校生の皆さんは、3校  
の伝統を守ってください。思い  
出多い仮設校舎、さようなら。

卒業生 別れのことば



和田節子 校長

皆さんには、困難に打ち勝って  
きた開拓者の血が流れていま  
す。仮設校舎はなくなっても、  
学んだことは仮ではありません。  
校長からの最後の課題です。  
一幸せになりなさい。

この3年間は、宝物のような  
日々でした。自分を信じて進ん  
でいきます。

答辞 伊東琴美さん

旅立ちの季節で  
す。3月には、修了  
式と卒業式が行わ  
れ、避難の中で活躍  
を続けてきた子ど  
も達が、恩師や学び  
舎に別れを告げま  
した。仮設の園舎・  
校舎、そして保育所  
で行われた最後の修  
了式・卒業式でもあ  
りました。

3/13

### 飯舘村立飯舘中学校



フォトストーリー

# 修了式 卒業式



中井田多美子 所長

17年間の運営をご支援いた  
だいた関係者の皆様、そして  
職員に心から感謝していま  
す。やまゆり保育所は閉所とな  
りますが、今後も子ども達の成  
長のため精一杯努めます。



草野・飯樋幼稚園とやまゆり保  
育所は、閉園・閉所となりまし  
た。4月からは飯舘村立の認  
定こども園「までの里のこど  
も園」としてスタートします。



吉川武彦 園長

きらきらした目で笑顔いっぱい  
遊んでいましたね。皆さんのパ  
ワーで先生達やお客さん達も  
元気いっぱいになりました。あ  
りがとう。4月からは1年生。夢  
に向かって頑張ってください。



3/24 社会福祉法人いいたて福社会 やまゆり保育所

3/16 飯舘村立草野・飯樋幼稚園

**HOPES**  
ホープス セカンド  
2nd

立派な梁や柱に思わず見とれる、古民家の風情を生かした高倉さんの蕎麦店。店名は「なまえのないお店」です。「何だろうってちょっと考えるそんな時間がいいかなあと」。辰彦さんが名付けました。

昨秋、家をリフォームした後、「せっかくだから、この場所で蕎麦を出してみよう」と、夫婦で話し合ったのが始まり。「仕事をするのが好きなんで

恩返しに蕎麦を味わって

高倉 辰彦さん  
君枝さん (前田)



解体するのはしのびないとリフォームした自宅で、3月10日に蕎麦店を開業しました。間もなく避難していた伊達市の仮設住宅から帰村し、農業は二男の隆展さんが再開します。



銘木イチョウの一枚板のテーブルは、親戚の製材所からの贈り物。杉の丸太のイスには、カラフルな手編みの座布団が乗っています。「90代の地区のおばあちゃんが編んでくれました」

【なまえのないお店】  
土曜 午前10時～午後2時  
※臨時休業もあるので電話予約がおすすめです。  
080 (5224) 7686

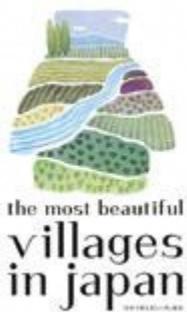
すね。避難中、ただいなのは苦痛でしたから」。蕎麦つゆ作りは君枝さん。開店祝いに振る舞った、おこわなどの手料理も大好評でした。一方、佐藤貞勝さん(前田)と辰彦さんが打つ蕎麦は、太めで歯ごたえがあり滋味深い味わい。2人は『北の清水 蕎麦倶楽部』で蕎麦打ちを楽しんでいた仲間です。

震災直後は、孫を連れ、辰彦さんの妹が住む白河市に避難。家族で話し合いながら分散して避難を続け、現在は、就職や進学もあつて、8人家族が4か所に分かれています。「お彼岸に孫が来て蕎麦を食べ、おいしいと言ってくれましたよ」。2人の言葉には、家族や親戚、友人を大切に思う気持ちにじみまします。「これも恩返しの一つの方法かなと。復興の一助にもなればうれしいです」。

〈編集後記〉

● 涙もろくなってきたなと、思う今日この頃。卒業式での子ども達の姿に、目がウルウル。これまでの仮設校舎での学校生活が蘇りました。子ども達が笑い合う姿、友達や先生と学び合う姿。仮設校舎で過ごした日々、思い出は決して色あせない「ホンモノ」です。いつでも、いつまでも母校は飯館村の学校ですね。そして、今年の春、村の学校に子ども達の笑い声が戻ってきます。自分も保護者の仲間入り。楽しみます。(木幡)

● 開園、開校—これから始まる新しい物語に今からドキドキです(自分が通う訳ではないのですが)。役場に近くなり、つついのぞきに行つてしまひそうです。修了!卒業した皆さんも、さまざまな理由で転園・転校する皆さんも、一緒にバトンをつないでくれた園と学校。みんながここに繋がっていると感じます。離れた場所で新しい春を迎えた人も、それぞれの場所で、みんな頑張れ!(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。